

# 予算審査特別委員会

## 【渡辺 佳正 委員長のコメント】

「ウィズコロナと物価高騰」、「少子・高齢・人口減少」、「デジタル化と脱炭素」など多くの課題に直面する中での予算審査となりました。

特に、「かつてない急激な物価高騰から暮らしと地域経済をどう守るのか」に市民の関心が集まっています。危機的な畜産酪農家をはじめとする事業者への支援、インボイス制度開始に伴う諸問題、子育て支援としての学校給食費無償化、子ども医療費完全無料化などの要望にどう応えるかについて、「現時点で国の財源が示されない中で、国の動向を見守る」という市の姿勢は物足りなさを感じました。

デジタル化については、マイナンバーカードを持たない市民に不安を感じさせないことが今後の大きな課題だと考えます。



▲渡辺 佳正 予算審査特別委員長

## 会派が注目する令和5年度に予算化された事業

### 日本共産党議員団

住宅リフォーム宮クーポン事業費補助金 予算額 47,260千円

高齢者生活用具給付事業 補聴器購入扶助費 予算額 3,000千円

住宅リフォーム宮クーポン事業は、日本共産党議員団が長年要求し、小室前市長が制度化し須藤市長に引き継がれました。12年前の東日本大震災の時、富士宮でも屋根瓦が落ちる、壁にヒビが入るなど多くの被害が発生し、須藤市長の英断により特別に3月11日の被害も含めることができ、それがこの制度のスタートとなりました。リフォームを希望する市民・施工業者・宮クーポンで食事や買い物をしてもらおう商店の3者が得をし、事業費の約17.3倍の効果額（令和3年度決算の事業費3,960万円で工事費約3億7千万円）がある制度です。毎年度希望する市民が多く、今年度は30件の増額となりました。

補聴器購入補助は、全国的に取り組みまれてきました。高齢期を考える会からの要望もあり、昨年度から実施され、240万円80人分でした。今年度は要望する人が多かったため、300万円100人分となりました。

### 富岳会

文化振興費 人件費 86,498千円

世界遺産VRコンテンツ制作等委託料 4,247千円

記念イベント委託料(世界遺産登録10周年記念祭) 3,000千円

(仮称)郷土史博物館構想においては、特段予算化されず、通常業務の範囲で、市民の理解や調査研究を進めると答弁がありましたが、具体的な予算がないにも関わらず事業を行えるのか不信感を抱かざるを得ません。過去に、附帯決議を付けたことを再度意識し、市民説明会や市民に向けた周知、意見聴取を怠ることのない事業を考えていただきたいです。

世界遺産VRコンテンツ制作等委託料について、本年は第5次富士宮市総合計画後期基本計画の2年目となり、総合計画の総仕上げに向けての歩みを感じます。その中で、VRを活用した構成資産等のPRに関しては、天気が悪く富士山の眺望を楽しめない観光客にもアプローチできるよいものであると感じます。また、市ではDXを推進していますので、それに見合った事業でもあったと考えます。

富士山世界文化遺産登録10周年記念事業は、具体的な説明が少ない中での言葉の先送り感は否めませんが、取り組む姿勢は評価したいと思います。